

# 御祓中だより

9月号 (裏面有り)

学校ホームページ <http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/~misogi/NC2/htdocs/>  
学校メールアドレス [misogityu@city.nanao.ishikawa.jp](mailto:misogityu@city.nanao.ishikawa.jp)

平成24年 9月 3日  
No.8 七尾市立御祓中学校  
TEL 53-0201

## 今こそ「変身」のとき！

夏休み後半からは、すでに補充学習や体育祭の練習などで登校している状況ですが、一応の夏休みを終え、いよいよ2学期が始まります。2学期は体育祭や文化祭、合唱コンクールなどの学校行事があります。学級が結束し、学年を超えた縦割り集団による熱い競い合いが展開される行事こそが2学期の大きな行事となります。

3年生は3年間の部活動を終え、悔しい思いをしたことや満足したことなどの思いを持ったことだと思います。しかし、本当は試合に出場し勝つこと以上に、「一生懸命3年間部活動に取り組んできたこと」それ自体が意味のあることですし大変素晴らしいことなのです。これからは気持ちを切り替え、もう一つの大きな目標に向かって自分を奮い立たせることが大切です。大きなことを成し遂げた後の虚脱感から早く気持ちを切り替えて、心の空白期間をいかに短くできるかです。期待しています。

2年生の皆さんは、どうしても中だるみになりがちです。1学期間の自分を振り返ってみてください。だらだらとした毎日になっていませんか。そのような皆さんは、自分なりに目標を持って生活することが大切です。2年生のこのときほど、その過ごし方で大きく変化するときはありません。これからは、部活動や生徒会・委員会活動など学校の主役・リーダーが、3年生から2年生の皆さんに入れ替わります。2年生に求められるのは、明確な目標と自覚です。これから御祓中学校をリードしていくのはあなた方です。しっかり3年生からバトンを引き継いでください。

1年生は、中学生生活の1学期と夏休みを無事終了しました。やることなすことが初めてのことで戸惑ったことも多かったでしょうが、ここまで来ればもう「立派な中学生」です。しかし、本当はここからが「ほんまもんの中学生」になれるかどうかの分かれ道になっています。「こんなものか」「これくらいでいいか」とここで気をゆるめてしまいか、それとも「ペースがつかめてきたぞ」と一層力を出していくか、この2学期は、これから皆さんがどのような中学校生活を送ることになるのかが決まるというわけです。これからも見つけた「道」を迷わず進むことです。そして、精神的にも中学生らしくスケール・アップしてください。

学期の中で一番長い2学期は、何かと忙しくなります。自分で自分の時間をうまくコントロールして、充実した日々にしてください。皆さんと過ごすこれからの2学期の日々の中で、皆さんがどのように変身していつてくれるか本当に楽しみにしています。

## 体育祭及び文化祭の開催のお知らせ

9月8日(土)には体育祭、15日(土)には文化祭が行われます。

体育祭では、今年度から全校生徒による「七尾まだら」を行います。本校で実施するのは初めてです。また、団対抗の応援合戦などがあります。

一方、文化祭は学級毎の出し物やPTAによるバザー、七尾高校理数科による「サイエンスショー」など盛りだくさんです。ご家族、ご近所お誘い合わせのうえ、ご来校ください。

## 除草作業のご参加ご協力、ありがとうございました

夏休み中の8月25日(土)には、早朝6時から「親子除草作業」が行われ、たくさんの保護者の方にご参加をいただきました。天候にも恵まれて、わずか1時間ほどの除草作業ではありましたが、皆様のご協力のおかげですっかりきれいになりました。誠にありがとうございました。生徒たちもきれいなグラウンドで思いっきり体育祭に臨めるとと思います。

## アメリカ・モントレイ市と韓国・金泉市への派遣

夏休み中に、海外派遣の体験をした生徒がいました。アメリカ・モントレイ市へは、松尾雛代さん(21H)、達愛さん(22H)の2名が8月9日から13日間、韓国・金泉市へは、高木優作君(31H)、日下杏菜さん(22H)、岡本愛さん(12H)、松本千雅さん(12H)の4名が8月6日から5日間の日程で行って来ました。それぞれが体験したことをきっかけに大きな夢を持ち、その体験をこの後の学校生活に生かしてほしいと思います。

## いじめのない、明るい挨拶が飛び交う学校に！！

1学期を振り返って、2学期はどんな学校にしたらいいのだろうと生徒たちにも分かりやすいキャッチフレーズを考えてみました。それが「いじめのない、明るい挨拶が飛び交う学校に！！」です。当たり前の“平凡”なことが当たり前にできるということが、むしろ“非凡”なのではないでしょうか。

生活の基盤は、やはり挨拶です。挨拶ができると、掃除や学習態度、当番活動などができるようになります。すべての行動が挨拶に結びついていると言っても過言ではありません。先生方や家庭からも子どもたちに範を示すように行動していきましょう。

## 七尾子ども能楽教室の開講

8月28日(火)に本校体育館において、「七尾子ども能楽教室」の開講式がありました。

「能楽」を学ぶ目的の一つは、日本の古き伝統芸能を継承していく役割を担うということ、もう一つは七尾の人のみならず、世界の人たちにも「能楽」のよさを伝えてほしいということです。

11月11日(日)には、七尾サンライフプラザで発表会がありますので、ぜひご鑑賞下さい。



11月の発表会へ  
能楽の基本習う  
七尾・御成中  
能楽生協会の七尾支部文化継承事業「七尾子ども能楽教室」の開講式は28日、七尾市御成中にて始まり、1年生74人が11月の発表会に向けて仕舞や謡の基本稽古された。

宝生流職分の広島克栄さんら7人が、七尾市御成中にて開講式の様子を指導した。開講式では、青成泰能楽生協会の会長が挨拶し、石橋文彦御成中同窓会会長の挨拶があった。

北國  
H24. 8. 28

## Congratulation!

- ◆石川県中学校ソフトテニス選手権大会(8月25、26日)  
優勝 男子団体 竿漕大夢(21H)、出村宇宙(22H)、橋場深太(22H)、端山都頼(22H)、久保田未来(11H)、出口翔太(11H)
- 優勝 男子個人 出村宇宙・竿漕大夢 組
- ◆北國少年少女美術展  
絵画の部 金沢市長賞 「朝の訪れ」 山口 北都(22H)

大会成績

## 集金引き落とし日のお知らせ

9月の集金の引き落とし日は、9月7日(金)ですので、お間違えなくお願いします。

## Let's call... オアシスライン

～親と子のなんでも電話相談室～

- ◆相談内容：悩んでいること、困っていること
- ◆TEL 0767-52-0783
- ◆受付時間：13:00～16:00(月曜～金曜)
- \*匿名でのお電話で構いません。秘密は守ります。

# 学校評価結果のお知らせ

[10月号では保護者アンケートを報告します]

## 第1回 教職員自己評価(7月)結果

下記の項目について該当する評価に○印をつけて下さい。

(A:とてもできている B:できている C:あまりできていない D:できていない)

七尾市立(御 祓 中)学校

項目	番号	評価の観点	A	B	C	D	H20	課題や改善点
教育目標の設定と実現	1	校長のリーダーシップのもと、地域や児童生徒の実態を踏まえた教育目標の設定が行われている。	5	13			100%	2→学力も大切だが、道徳の授業の意見交換(資料活用)ももっと必要だと思います。
	2	豊かな心と思いやりのある生徒の育成を目指して、道徳やふるさと学習の指導に努めている。	2	8	7		58%	2→大切な部分であると思う。できるだけ副読本を使って道徳をするようにしている。
	3	確かな学力を持つ生徒の育成を目指して、授業や補充学習での工夫に努めている。	4	13			100%	3→補充学習があまりできていない、学力差が出てきている。
	4	主体的に取り組む生徒の育成を目指して、生徒会活動や進路指導等の充実を図っている。	1	15	2		89%	5→食育の取組がもっと充実したら良いと思う。嫌いな食材を人の皿に入れる、苦手なメニュー(酢の物など)に一口も手をつけなれないなどが無くなればよい。
	5	心身共に健やかな生徒の育成を目指して、食育、体育活動、教育相談等に努めている。	6	11	1		94%	6→日々の忙しさに紛れ、点検等をする機会としては良いが、新しい試みややる気という意欲がわいてこない現実がある。
	6	校務分掌について、PDCAサイクルにより企画・提案・改善を行い、教育目標の実現に努めている。	1	12	5		72%	6→校務分掌での課題を職員間で共有する必要があると思う。
教科等の指導の重点	7	学習意欲を高めるために、教材教員の工夫・言語活動の充実・人間関係づくりの観点で、指導法の工夫改善に努めている。	3	8	6		65%	6→同じ分掌のメンバーで共通理解を回り、細かな仕事を分担しながら進められたらいいと思う。
	8	指導目標を明確にし、各教科の基礎・基本が生徒に確実に定着するよう、指導法の工夫・改善に努めている。	4	11	2		88%	6→レディネス診断が十分できなかったため、計画する段階でもっと準備したい。
	9	児童生徒一人一人の個性を尊重し、個に応じた学習指導の工夫・改善を図っている。	1	11	5		71%	7→教科の特徴で、あまり書きまとめる場面がないが、できるだけできるだけ取り入れようとしている。
	10	一生懸命清掃に取り組み、元氣な挨拶ができる生徒の育成をめざした生徒の指導に努めている。	3	10	4		76%	7→書きまとめる活動を入れようという意識は少しはあるが、具体的に何をどこまですればよいかを迷いながら行っている。
	11	根拠や筋道を明確に表現させるために、書きまとめる活動を取り入れた学習活動を行っている。	4	9	4		76%	8→授業の中では理解できるが、復演習不足のため、定着していない。
	12	児童生徒のよさや可能性を積極的に見だし、伸ばし、学習意欲を喚起する評価に努めている。		11	6		65%	9・12→生徒の授業評価でCやDがいくらかあったので、まだまだ努力する必要があると思った。
	13	基礎学力調査の結果の考察を行い、授業改善等の対策・指導を行っている。	3	12	3		83%	10→教科(音楽)では記号の活用があるので、できるだけ定着するように言葉にだすようになっている。
	14	全教職員の共通理解と意志統一を図り、校内指導体制を確立し、適切に生徒指導の機能化を推進している。		12	5		71%	10→できるだけ思考力を問う課題には取り組んでいるが、生活に活用する力という観点では、かなり高度で時間のかかるものとする。
	15	児童生徒理解を深めながら、いじめ・不登校の未然防止と早期対応に努めている。		17	1		94%	14→さらなる共通理解と指導の体制確立が必要。保護者との連携が課題。
	16	児童生徒の発達段階に即して、基本的な生活習慣や規範意識を育てている。		16	2		89%	14→適切に生徒指導はこなされていると思うが、指導体制の機能化は図られてはいないと思う。
	17	生徒指導方針を家庭・地域及び関係機関に明らかにし、信頼関係の確立に努め、連携を図っている。		16	2		89%	15→保護者との連携が課題。
	18	一生懸命清掃に取り組み、元氣な挨拶ができる生徒の育成をめざした生徒の指導に努めている。		12	5	1	67%	17→校外との連携には担当の先生の負担はかなり大きいと思われる。
	19	構成的エンカウンターやQ-Uその他の手立てを効果的に活用し、人間関係づくりについての指導に取り組んでいる。	1	8	9		50%	18→挨拶はかなり定着してきたと体験思う。
教 育 健 育 康	20	家庭・地域・関係機関との連携を深めながら健康教育(学校保健・学校安全・学校給食)を推進している。	6	12			100%	18→一生懸命清掃活動する様子が、学年によってまちまちである。
	21	「早寝・早起き・朝ごはん」など望ましい生活リズムの形成や身の回りの衛生指導に努め、食育を推進している。	4	14			100%	18→指導に努めているが、まだ課題がみられる。
教育特色活動	22	ふるさとにかかわる学習を教育活動の様々な場面に取り入れるように努めている。	2	9	6		65%	20・21→保健委員会の衛生検査や給食委員会の残量調査など、生徒とともに取り組むことができていると思う。生活リズムについての取り組みが充実するとなお良いと思う。あまの山(の)のきめぐりのような具体的なものはやはり必要と感じる。
	23	自然体験や社会体験などの様々な体験活動を行っている。	1	8	8	1	50%	23→自然体験が減ってきており、修学旅行や職場体験など重要性が増してきていると思う。
教 育 支 援 体 制	24	支援の必要な生徒の理解を進め、校内の支援体制を整備し、学校全体で支援を行っている。	1	13	4		78%	23→自然体験・社会体験を設定するにも時間の確保が難しい。
	25	家庭・地域社会に積極的に働きかけ、家庭や地域の関係諸団体と連携・協力を図り、教育活動の充実を図っている。	2	13	3		83%	23→体験活動は少ないと思う。人間関係づくりには必要なのではないか。
学 校 開 発 力	26	家庭・地域に情報の提供を図り、開かれた学校づくりに努めている。	3	13	2		89%	23→体験活動は、ボランティア活動も含めたくさんあるが、参加生徒に限られている。学年行事として、取り入れることが出来れば良い。
	27	地域や関係機関・団体との連携を図りつつ、ボランティア活動等への参加について工夫して取り組んでいる。	3	14	1		94%	24→支援の具体がわからないし、対応出来る先生に限られているように思ったから。
教 育 研 究	28	教育活動全体を通してキャリア教育の推進を図っている。		8	10		44%	30→研究の方向性の共通理解が遅れ気味で実践もまだ少ないような気がする。今後、巻き返しを頑張る。
	29	望ましい読書習慣の定着を図り、学校図書館の利用に関する指導を行っている。	1	15	2		89%	32→自分は計画通りに進んでいるものは少なく、遅れ気味である。
研 修	30	校内研修の充実に向け、主題や年間計画について共通理解し、学校研究の推進に取り組んでいる。	5	13			100%	32→多忙化の中で目標がぼやけてしまってくる時がある。確認して取り組みたい。
	31	資質向上に向けて積極的に研修に取り組んでいる。	3	12	3		83%	
考 人 課 事	32	校長の学校経営計画を踏まえて設定した今年度の具体的な目標達成に向けて取り組んでいる。	3	14	1		94%	

# 新しいALTの先生が赴任します

七尾市では、2学期から全中学校に1名ずつALT（外国語指導助手）を配置することになりました。本校でも前任のカレン先生に代わり、アメリカ・ノースカロライナ州出身のフィガロア・テサ・ジェーン先生（通称：テサ先生）が赴任します。若い女性の先生で、本校生徒に英語を教えるのを楽しみにしているそうです。どうぞよろしくお願ひします。

## いじめの対応

いじめの対応については、職員が共通理解、共通行動がとれるように「危機管理マニュアル」を策定しています。下記がその内容です。今回は『いじめの発見』について、紹介します。

### いじめの対応（御祓中学校「H24年度 危機管理マニュアル」より抜粋）

いじめを発見した場合は、全体に対する指導だけで終わるのではなく、いじめた生徒、いじめられた生徒への個別の指導を徹底するとともに、いじめている生徒、いじめられている生徒双方の家庭に、いじめの実態や経緯等について連絡し、家庭の協力を求める。

#### ① いじめられている生徒への対応

- ア いじめられている生徒を必ず守り通すという姿勢を明確に示し、安心させるとともに、教師、養護教諭等の誰かが必ず相談相手になることを理解させる。
- イ 決して一人で悩まず、必ず友人や親、教師等の誰かに相談すべきことを十分に指導する。
- ウ いじめの事実関係を正しく把握することが必要であるが、その場合、冷静に、じっくりと生徒の気持ちを受け止め、共感的に受け止め、心の安定を図る。
- エ いじめた生徒を謝らせたり、双方に仲直りの握手をさせたりしただけで問題が解決したなどという安易な考えを持たずに、その後の行動や心情をきめ細かく継続して見守る。
- オ 生徒の長所を積極的に見つけ、認めるとともに、自ら進んで取り組めるような活動を通してやる気を起こさせ、自信を持たせる。
- カ いじめられている生徒を守り通すとの観点から、場合によっては、緊急避難としての欠席や転校措置等、保護者と相談しながら弾力的に対応する。

#### ② いじめている生徒への対応

- ア まず、いじめられた生徒の心理的・肉体的苦痛を十分理解させ、いじめが人間として絶対許されない行為であることを分からせる。
- イ 当事者だけでなく、いじめを見ていた生徒からも詳しく事情を聴き、実態をできるだけ正確に把握する。
- ウ 集団によるいじめの場合、いじめていた中心者が表面に出ていないことがある。いじめの集団内の力関係や一人一人の言動を正しく分析して指導する。
- エ いじめた生徒が、どんなことがいじめであるのか分からない場合も考えられるので、いじめは犯罪であるという認識を理解させる。
- オ いじめた生徒の不満や充足感を味わえない心理等を十分理解し、学校生活に目的を持たせ、人間関係や生活体験を豊かにする指導を根気強く継続して行う。
- カ いじめが解決したと見られる場合でも、教師が気づかないところで陰湿ないじめが続いていることも少なくないので、そのときの指導によって解決したと即断することなく、継続して十分な注意を払い、折に触れて必要な指導を行う。
- キ 十分な指導にもかかわらず、なおいじめが一定の限度を超える場合は、いじめられて生徒を守るために、いじめた生徒の保護者に対する出席停止措置や警察等の協力を得た厳しい対策をとる。また、出席停止になった生徒には、立ち直りのため、個に応じた指導を工夫する。

#### ③ いじめられている生徒の保護者への対応

- ア いじめの訴えはもちろんのこと、どんな些細な相談でも真剣に受け止めて、誠意ある対応に心掛ける。
- イ 家庭訪問をしたり、来校を求めたりして、話し合いの機会を早急に持つ。その際、不安と動揺の心で来校する保護者の気持ちを十分に受け止めて対応策について協議する。また、学校として、いじめられている生徒を守り通すことを十分に伝える。
- ウ いじめについて、学校が把握している実態や経緯等を隠さずに保護者に伝える。
- エ 学校での様子について、その都度家庭に連絡するとともに、必要に応じて個別の面談や家庭訪問を行うなど、解決するまで継続的に保護者との連携を図る。
- オ 必要な場合は、緊急避難としての欠席も認めることを伝える。
- カ 家庭においても、生徒の様子に十分に注意してもらい、生徒のどんな小さな変化についても学校に連絡してもらうように要請する。

#### ④ いじめている生徒の保護者への対応

- ア いじめの事実を正確に伝え、いじめられている生徒や保護者の、つらく悲しい気持ちに気づかせる。
- イ 教師が仲介役になり、いじめられた生徒の保護者と協力して、いじめを解決するため保護者同士が理解し合うように要請する。
- ウ いじめは絶対正当化できないものであるという毅然とした姿勢を示すとともに、家庭でも十分言い聞かせてもらうよう要請する。
- エ 生徒の変容を図るために、生徒との今後の関わり方や家庭教育の見直し等について、本人や保護者と一緒に考え、具体的に助言する。